




《貸出し用機器等の概要》

1. 移動通信機器

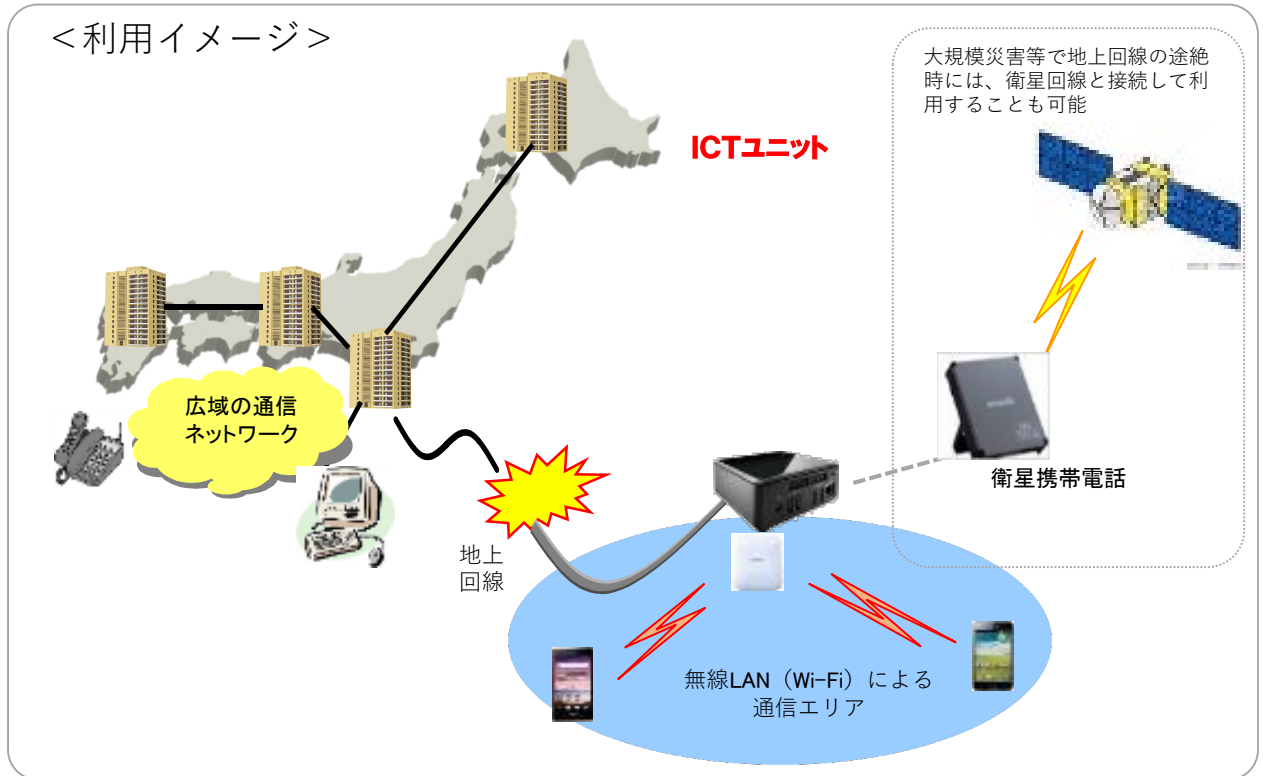
種別 (備蓄台数)	通信距離の目安	主な用途 (例)
衛星携帯電話 (417台) 	大大ゾーン ・衛星方向に障害物がなければ通話可能 (山岳、海上、砂漠などで使用可能) ・ただし、屋内から通信することは困難	災害対策本部と山間部の公民館等との連絡用 (避難状況、必要な物資の情報入手等)
M C A (179台) 	大ゾーン ・中継局 (※) を中心に半径30 k m程度 ・屋内外での通信が可能	災害対策本部と避難所間での連絡用、市町村内の物資供給所感での連絡用等
簡易無線 (1,065台) 	小ゾーン ・概ね1～5 K mでの通信が可能 ・屋内外での通信が可能	物資供給所内での連絡用、避難所内での人や車の整理のための連絡用、被災地区の家屋調査時の現地連絡用等の簡易な連絡用等

2. 非常用発電機及び電源運搬車両

【下図2】関東総合通信局に配備された電源運搬車積載 発電機の主要仕様

積載車両タイプ	 ×2台	
発電機 ※運搬車1台あたり、計4台を積載	 ガソリンタイプ×2台	 LPガスタイプ×2台
主な発電容量	ガソリンタイプ： 2.8kVA (単相) /1台あたり	
	L P ガスタイプ： 2.2kVA (単相) /1台あたり	
最大連続電源稼働時間 (燃料満タン時)	ガソリンタイプ： 7 時間	
	L P ガスタイプ： 1 0 時間	
給電対象設備	無線設備等※ ※1台の場合、無線設備への給電には電源容量が不足。このため、並列運転キットで2台をつなぐことで無線設備への給電を可能としている。	

3. ICTユニット



【ICTユニットの概要】

- 1) 普段のスマートフォンやタブレットを活用した音声通話とデータ通信を提供（直径約100m範囲）
- 2) 衛星回線・インターネット等との接続により、遠隔地との発着信が可能
- 3) 防水ケースで持運べ、ワンボタンで利用開始が可能。基本装備バッテリー1本で8時間使用可。

4. 臨時災害放送局用設備



(左側) 可搬型FM送信機

- ・外形 幅 510mm × 高さ 650mm × 奥行 660mm
- ・重さ 送信部: 約30kg 音声部: 約28kg

(右側) アンテナ

- ・伸縮マスト 1.3~4m (マスト収納時長: 1.25m)
- ・同軸ケーブル 20m



〔 当局にて貸付可能な臨時災害放送局用設備詳細は以下参照。
<https://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/saigai/osirase/fm.html> 〕